

平成20年度東京支部同窓会訪問記

平成20年9月27日（土）、正午から午後3時まで、明治神宮前の東郷記念館を会場に東京支部同窓会が開かれました。

出席者27名。最高齢は飯塚鉄雄氏（s16師）、最近の卒業は昌子佳広氏（s63小）。この幅広い世代が、隔てなく談笑し、人生を語り、世相を評しつつ、和やかに絆を深めあうことが出来たことは同窓会ならではの妙味でした。

第1部の司会は宮井啓子氏（s41中4）。軽妙な司会に導かれて、表敷岩雄氏（s22師）の開会の言葉、伊藤範子氏（東京支部長・s46特体）の挨拶、来賓として本部から参加した田中瑩一（同窓会長・s31中4）の挨拶と進み、今回の中心企画、木下正次氏（s22師）によるミニ講話「人生雑感ー生涯現役ー」と、成瀬巖氏（s19師）による「健康講座」（「中医鍼灸特効ツボ療法」）がありました。

木下氏は現職を退かれてからも日野市の「市政懇話会」や「老人クラブ」の会長その他多方面でご活躍ですが、これまでのキャリアを通して得られた人生哲学をユーモアたっぷりに語られました。成瀬氏は中医経絡振興会の鍼灸師でもあり、くわしいツボの位置図なども用意されたうえで、理論的な解説と指圧の実践を指導してくださり、一同の肩のこりもすっかりほぐれました。第2部が盛り上がったのはそのせいもあったようです。

第2部の司会は森脇洋二氏（s41小）。光野琴子氏（s17女師）の乾杯に続いて、出席者の近況が語り合われました。話の中でお互いの思いがけないつながりが発見されたり、この席に見えなかった同窓の消息が交流されたり、時間はあっという間に過ぎていきました。終わって「思い出の歌・ふるさとの歌」合唱のうちに嶋治行氏（s47中）の中締め挨拶、小笹貞實氏（s26小2）の閉会の言葉と進んでお開きとなりました。

当日の参会者は上記引用の方々の他次の通りでした（敬称略）。白石美代子（s18女師）、原治代（s18女師）、山本廣太（s19師）、佐々木台三郎（s22師）、梅木仙隆（s23師）、荻田敏夫（s24師）、昌子武（s24師）、川瀬清（s28中4）、荒尾尚樹（s34小4）、小林睦子（s37小4）、福田良子（s38小4）、森広牧子（s41中）、秋葉範子（s47小）、沼尻真智子（s51小）、横溝恵子（s62小）。

（同窓会長、田中瑩一記）